

[成果情報名] 黄色のスプレーギク「静育7号」の育成

[要約] 秋咲きの黄色のスプレーギク新品種「静育7号」を育成した。明るい黄色が鮮やかな7.5週タイプのスプレーギクで多花。下部の側枝には3輪ずつ着蕾し、確実に開花する。摘心栽培、無摘心栽培ともに利用可能である。

[キーワード] スプレーギク、黄色、秋ギク、新品種

[担当] 静岡農林研・新品種開発部

[代表連絡先] 電話 0538-36-1558、電子メール agrihinsyu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

産地強化のためにオリジナル品種の育成を進めている。

多花性でボリューム感のある黄色の秋咲きスプレーギクを育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 交配により秋咲きの黄色のスプレーギク新品種を育成した。

2. 育成経過は以下のとおり。

05年秋 種子親「ゴールデンハーベスト」に花粉親「レモンクイン」を交配。

06年秋 実生26個体から2個体を選抜。

07年秋 明るい黄色、多花、ボリューム感で1個体(05-59-02)を選抜。

08年 浜松市内の産地で試作。

09年 もうひとつの有望な黄花系統(06-48-02)と現地適応性を比較した。両者ともボリューム感に優れたが(表1)、花色がより鮮やかで蕾が上部に密集して着くことなど品質面で05-59-02の方が生産者の評価が高かった。所内で特性調査および官能評価(切花の人気投票)を実施したところ、やはり05-59-02の方が消費者の人気が高かったことから、新品種候補として育成系統名キク「静育7号」を付した。

現在、品種登録準備中(09年12月現在)。

3. 品種特性は以下のとおり。

季咲きは11月上旬で、7.5週タイプの秋ギク(表2)。

花色は明黄(2506:JHSカラーチャート、9B:RHSカラーチャート)で、花盤が小さく、緑心で、抱え咲き。

多花性で季咲きでは30輪以上着生し、花穂長(花が着いている部分の長さ)が長い(表1)。

上部の蕾と側枝の蕾の開花程度が揃っているため(図1)、下部の蕾も確実に咲く。

寡日照時に密植すると下部に側枝が着生せず、花蕾数は10輪強に減少する(表2)。

摘心栽培、無摘心栽培のどちらでも利用できる。

[成果の活用面、留意点]

1. 品種登録を予定している。

2. キク「静育7号」は育成系統名で、品種名を改めてつける予定。

3. 寡日照時に密植するとボリューム不足になって収量が減る(表3)。

[具体的データ]

表1 育成中のスプレーギク有望系統の切花品質 11月下旬収穫(現地試験)

育成系統	開花日	切花長 cm	調整重 90cm g	調整後 節数 節	調整後 花蕾数 輪	花穂長 ¹⁾ cm	茎径 mm	花径 mm	花弁の色		
									L*	a*	b*
05-59-02 (静育7号)	11/21	111.5	76.9	30.3	29.5	27.8	7.0	66.3	94.7	-14.2	115.7
06-48-02	11/18	121.4	97.1	29.0	28.8	38.8	7.1	59.3	92.2	-10.8	97.6

現地(浜松市西区)で無摘心栽培 定植09年8月29日、消灯9月29日、Bナイン処理 1回

¹⁾花蕾が着いている部分の長さ、切花頂部から最下部の蕾まで

表2 年末出荷作型におけるスプレーギク「静育7号」の切花品質(現地試験)

品種・系統名	収穫時期	到花日 数 日	切花長 cm	調整重 90cm g	調整後 節数 節	調整後 花蕾数 輪	花穂長 cm	茎径 mm	花弁の色		
									L*	a*	b*
静育7号	12月中～下旬 ¹⁾	54.0	93.9	50.9	33.0	13.2	19.7	5.6	98.0	-13.9	118.5
セイショパール(参考)	(無摘心栽培)	54.4	91.2	50.5	35.6	8.9	13.8	6.3	78.4	36.3	8.3
静育7号	12月最下旬 ²⁾	51.2	102.6	43.6	31.3	12.0	19.2	5.1	96.1	-14.9	115.4
レミダス(参考)	(摘心栽培)	51.2	109.0	48.9	33.5	9.6	11.5	5.9	93.8	-12.2	109.2

¹⁾栽培地は浜松市西区 定植9月26日、消灯10月27日 ²⁾栽培地は浜松市北区 定植9月16日、摘心9月26日、消灯11月5日

表3 年末出荷作型におけるスプレーギク「静育7号」の階級別切花本数(現地試験)

品種・系統名	収穫時期	栽植密度 ¹⁾ 本/m ²	階級別切花本数 本/m ²						
			2L	L	M	S	小計	規格外	計
静育7号	12月中～下旬 ²⁾	42.5	23.4	0.0	9.6	5.3	38.3	5.3	43.6
セイショパール(参考)	(無摘心栽培)	42.5	20.2	2.1	12.8	1.1	36.2	5.3	41.5
静育7号	12月最下旬 ³⁾	68.3	6.2	3.1	7.7	7.7	24.6	18.5	43.1
レミダス(参考)	(摘心栽培)	68.3	16.2	6.9	11.5	6.2	40.8	12.3	53.1

¹⁾通路も含めた m²当たりの仕立て本数(計算上)

^{2) 3)} 栽培地等は表2の脚注と同じ



図1 スプレーギク「静育7号」の切花と下部側枝の様子

10本の側枝に3輪ずつと上部を合わせて、合計37輪着生している。

[その他]

研究課題名：特産花き新品種の開発研究と有用遺伝子を活用した選抜マーカーの開発研究

予算区分：県単

研究期間：2007年～2011年

研究担当者：本間義之、山田栄成、岩崎勇次郎

発表論文等：なし